

シネマ203

上映作品ラインナップ

- 9月 『**SUKITA** 刻まれたアーティストたちの一瞬』
九州の商店街から世界へ飛び出した写真家 **SUKITA** の熱い人生を、北ぶらくり丁で！
- 10月 『**みんなのヴァカンス**』 ギヨーム・ブラック監督特集
映画ファン待望のさわやかな新作が和歌山初上陸！
- 11月 『**ジョン・カサヴェテス レトロスペクティヴ リプライズ**』 in WAKAYAMA
米インディペンデント映画の父、珠玉の6作品をジストシネマと合同で上映！
- 12月 『**遺灰は語る**』 (パオロ・タヴィアーニ監督)
ユーモアと、美しさ。わずか90分で戦後史と人間の運命を語るイタリア映画
『**アアルト**』 (アルヴァ・アアルト生誕125周年記念ドキュメンタリー)
暮らし、社会、自然—フィンランドを代表する建築家/デザイナー、アアルトに迫る
- 1月 『**枯れ葉**』 (アキ・カウリスマキ監督)
フィンランドの巨匠から届いた愛の贈り物を、2024年の幕開けに

上映スケジュールはお客様と一緒に

毎月の土日祝は、シネマ203が上映時間を設定してスケジュールを発表します。

平日や夜などは、希望日予約を受付中。

ご希望の上映時間と、その月の上映作品を指定してお申込みください。追加上映します。

(HP、Facebook、Instagramで随時更新)

なお、ご観賞の事前予約を各回10名様まで承ります。(電話、メール、SNSメッセージ等で)

入場料金

一般：1,700円 / 大專：1,500円 / 小中高：1,000円 (特集上映など特別料金アリ)

※ 各回開場時(上映10分前)に現金でお支払いください。

※ 2024年4月以降に新しい料金設定を導入予定です。

アクセス

本町公園より徒歩1~2分

北ぶらくり丁と本町公園を南北につなぐ細い道路に<北ぶらくり丁会館>の鉄看板アリ

【駅から徒歩】

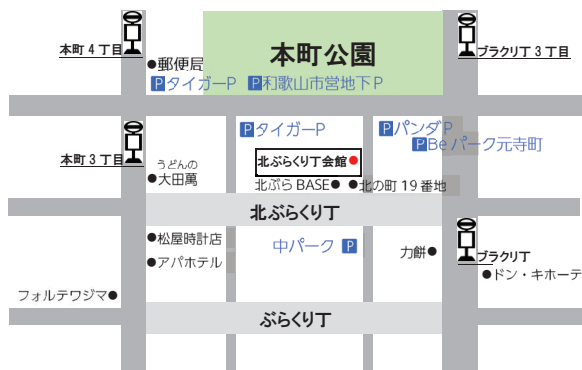
和歌山市駅より徒歩10分(800m)

和歌山駅より徒歩25分(2km)

【駅からバス】各バス停より徒歩2~4分

和歌山市駅より約1~2分

和歌山駅より約5~9分



北ぶらくり丁会館 203号室

シネマ203

cinema203



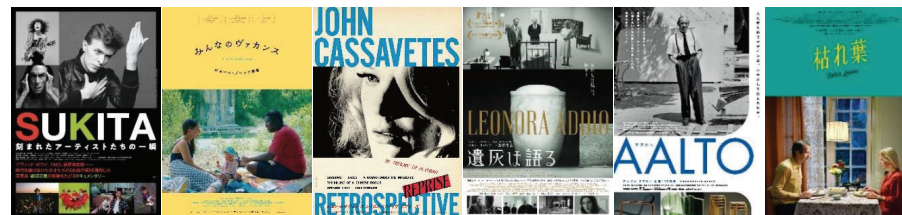
たまにはちょっと、映画でも

北ぶらくり丁に、日本最小の映画館がオープンしました。

大きなスクリーンと、包み込むような音響で映画に没入できる17席の空間で、小さいけれど本格的な“極小極上”の映画体験をお楽しみください。

ドキドキするような世界の映画を、毎月の土日祝を中心に月替わりで上映します。

和歌山の皆さま、月に2時間の小旅行へ、ようこそ！



和歌山市中ノ店北ノ丁22
北ぶらくり丁会館 203号室
090-8172-7074

cinema203.com/



🎬「映画は美しい」……12 月は、イタリア映画で年忘れ！

「私は死んだのか？」 印象的な独白で幕を開ける予告篇から、懐かしいヨーロッパ映画の薫りが立ちのぼります。でもこれは今年封切られた 2022 年作品。年内の上映に間に合いました。



『遺灰は語る』 Leonora Addio

監督・脚本：パオロ・タヴィアーニ

出演：ファブリツィオ・フェッラカーネ、マッテオ・ビッ
ティルーティ、ロベルト・エルリツカ（声）

字幕：磯尚太郎 | 字幕監修：関口英子 | 配給：ムヴィオラ
後援：イタリア大使館 | 特別協力イタリア文化会館

（2022 年／イタリア映画／90 分／モノクロ＆カラー／
スコープサイズ）©Umberto Montiroli

ローマからシチリアへ。トラブル続きの旅の主人公は、1936 年に亡くなったノーベル賞作家ピランデッロの“遺灰”です。「遺灰は故郷シチリアに」が遺言だったはずが、時の独裁者ムッソリーニはローマから手放さない。戦後ようやく故郷へ向かうも、道中では次々にトラブルが……。

ユーモアと美しさで綴られる“遺灰”の旅は、目の覚めるような青い海が開幕を告げるピランデッロの遺作短篇『釘』で締めくくられます。91 歳のパオロ・タヴィアーニ監督が、わずか 90 分に戦後史と人間の運命を凝縮した渾身の最新作を、ゆったりとお楽しみください。

🏠年末年始のフィンランド特集！ ようこそアアルト、そしてカウリスマキ

和歌山には、建築関係の皆さんをはじめ、北欧家具や雑貨を通じてフィンランドを身近に感じている方が大勢いらっしゃるようです。

フィンランドを代表する建築家でデザイナーのアルヴァ・アアルト。色褪せない名作の誕生を陰で支えたのは、最初の妻アイノだったー。生誕 125 周年の今年、偉大なアアルトの人生と作品を巡るドキュメンタリーが到着しました。大画面で、名作の数々を辿る旅をご堪能ください。



『アアルト』 AALTO

監督：ヴィルビ・スータリ

出演：出演：アルヴァ・アアルト、アイノ・アアルト 他
日本語字幕：横井和子 | 字幕監修：宇井久仁子

配給：ドマ | 宣伝：VALERIA | 後援：フィンランド大使館、
フィンランドセンター、公益社団法人日本建築家協会
協力：アルテック、イッタラ

（2020 年／フィンランド映画／103 分）
© FI 2020 – Euphoria Film

フィンランドといえばこの人、アキ・カウリスマキ監督の最新作を、和歌山でも元旦から上映します。和歌山初登場を記念して、人気の旧作もスクリーンでご紹介予定です。

「愛を、信じる」というキャッチコピーの本作では、ギリギリの生活を送りながらも、生きる喜びと人間としての誇りを失わずにいる労働者たちの日常が描かれます。ノスタルジックなヘルシンキの風景、バンド演奏からカラオケまで自由自在な音楽の使い方……随所にちりばめられたとげけたユーモアと溢れ出る映画愛で、良い年明けをお過ごしください！



『枯れ葉』 KUOLLEET LEHDET (FALLEN LEAVES)

監督・脚本：アキ・カウリスマキ／撮影：ティモ・サルミネン

出演：アルマ・ボウスティ、ユッシ・ヴァタネン

配給：ユーロスペース | 後援：フィンランド大使館

●第 76 回カンヌ国際映画祭審査員賞受賞

●2023 年国際批評家連盟賞年間グランプリ

●第 96 回アカデミー賞国際長篇映画賞部門フィンランド代表

（2023 年／フィンランド・ドイツ／81 分／1.85:1）

© SPUTNIK OY 2023

🏠北ぶらくり丁の冒けん

映画が見たい。まだ見たことのない映画が見たい。どんどん見たい！——ということで、映画館、作りました。

ちゃんと“映画の映像”が見えるスクリーンと、“映画の音”が聞こえる音響設備。できれば画面は見上げたいし、画面の下に出るようになった字幕も難なく読みたい。大音量のテーマ音楽も、ささやくようなそよ風もどちらも聞きたい。ウトウトしてしまっっては困るから、椅子はちょうどいい座り心地で、2 時間覚醒させてほしい（寝てしまうのもオツなんです！）。まずはここからスタートして、今の時代に合う形が見つかればいいなと思っています。



この 10 年、和歌山の映画館で映画を見ている。ほぼ満席のこともあったし、2 人きりの回も何度かあって、それが都会の映画館と同じ風景なのかどうかは、だんだんわからなくなりました。ここ 3 年は、映画館にも行かなくなって、その理由を考えて出た私の答えが「シネマ 203」です。もしかしたらお伺いなのかもしれないし、異議申し立てかもしれません。

和歌山の映画ファンの皆さんは、映画にとても厳しいです。目の前にある映画そのもののだけを、くも

りのない自分の目で見て、「おもしろかったかどうか」を大切にしています。どこかで賞を取ったとか、都会で流行しているとかお構いなし。気持ちいいぞ！本当の映画ファンが、この町には居るんです今も。だから私も、映画をふたたび“自由”に見られるようになってきました。ぶらくり丁の映画館に籠っていたあの頃のように。



上映プログラムは、月替わりで組んでいます。皆さんにとって懐かしい作品のもの、聞いたこともない不思議な作品もあるかと思いますが、12 ヶ月のうちに 1 本くらいは「おもしろいやん」と思うものに巡り合ってもらえたらと願っています。

毎月のスケジュールが出たら、手帳とご相談の上、予定に合わなければご連絡ください。ご希望の日時に追加上映いたします。



映画館というアドベンチャーへようこそ。ハックルベリー・フィンによると、冒険には危険が付きものなんだとか。思い切って上ってきてくださる皆さんを、赤い階段の上でお待ちしております。

（北ぶらのハックより）

※ 2024 年元旦の『枯れ葉』上映（13:00／15:00）は、ご観賞事前予約（各回 10 名様）を受付中です